

会工同窓会会報

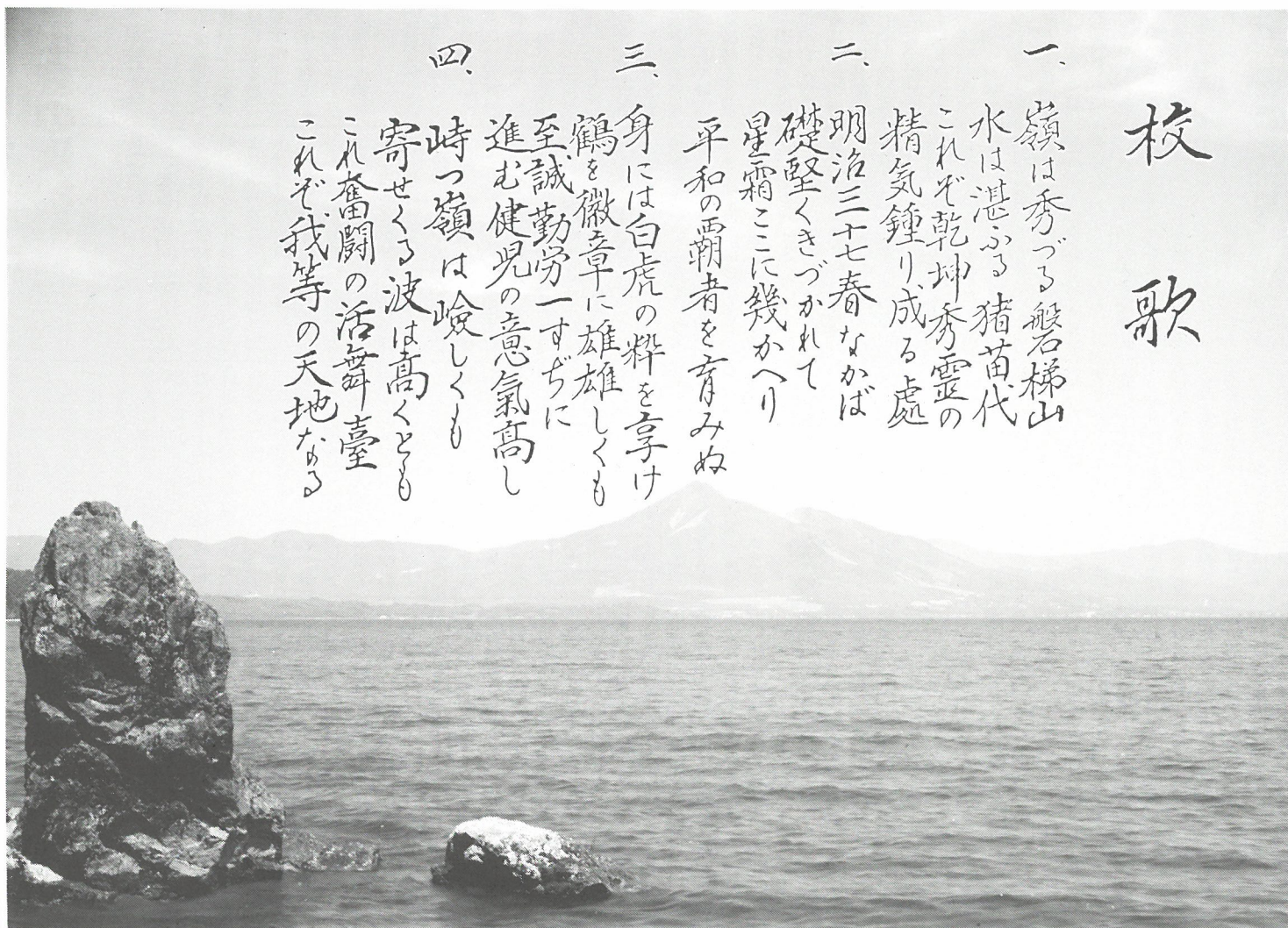
発行所
福島県会津若松市
徒之町1の37
発行人 吉田一栄

平成九年度総会

平成九年十一月十五日

校歌

一、嶺は秀づる磐石梯山
水は湛ふる猪苗代
これぞ乾坤秀霊の
精気鍾り成る處
明治三十七春なれば
礎堅くきづかれて
星霜ここに幾かへり
平和の覇者を育みぬ
三、身には白虎の料を享け
鶴を徽章に雄雄しくも
至誠勤勞一すぢに
進む健児の意氣高し
四、時つ嶺は峻しくも
寄せくる波は高くとも
これ奮闘の活舞臺
これぞ我等の天地なる



秋気いよいよ深まり、同窓会会員の皆様には益々御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて我々の母校も明治三十五年九月の設立認可以来、平成十四年九月をもって創立百周年の記念すべき年を迎えることになりました。

この一世紀という長い間、優秀な人材を社会に送り出し、その卒業生は二万二千有余を数えており、多くは我が国のみならず広く海外



平成九年度会工同窓会総会が盛大に開催されますこと、心よりお祝いを申し上げます。また、会員の皆様のご活躍と日頃本校に寄せられる暖かい支援に心から敬意と感謝を表する次第であります。

九十五年の星霜を重ねる会工の魅力は、ずばり質実剛健の気風でしょうか。本校に赴任しての第一印象であります。

現在八学科、二十七学級、一千六十三名の生徒と百十数名を越える教職員、更に本郷分校、会津第二高校を擁する広い学園の中で、生徒たちは今が青春の真っ最中であります。

果たして、勉学に勤しむ者、部活動に青春のエネルギーを燃焼させる者、あるいは資格取得に挑戦し、自己の将来の資質を高める者、ロボット競技に技術の粋を傾注して取り組む者。そして、常に少数派であるがや

百周年記念事業への第一歩

会工同窓会

会長 吉田一栄

でも各種産業界の中心として活躍されております。そして本校がこれまで輝かしい校歴に至りましたのは、地元会津の皆様そして同窓会会員の皆様のおかげです。御支援、御協力のおかげで存じあらためて御礼申し上げます。

さて、来るべき創立百周年も五年後にせまりました。そこで昨年十二月十九日に初めの段階として準備委員会を結成し、数回にわたつ

ての会合の末、記念行事ならびに記念事業の原案がまとまりました。特に記念事業では同窓生、在校生のかねてからの悲願であります同窓会館の建設という大きな目標を掲げました。もちろんこの夢を実現することは容易なことではありません。そして他に学校沿革史の編集、貴重な資料の整理など困難かつ重要な作業もひかえております。

この度新たに「創立百周年記念事業実行委員会」を組織し、記念事業の準備はこの委員会に委ねられることになりました。しかし記念行事、記念事業の成功のためには同窓会員の皆様の多大なる御支援と御指導がなければ不可能と存じます。何卒母校の二十一世紀を迎えての新しい発展のために重ねて御理解を願います。御挨拶と致します。

会工の魅力

県立会津工業高等学校

校長 郡司正孝

や無気力なグループに属する者。また、おしやれや姿勢格好にうつつを抜かしているものなど。夢多き青春時代の羨ましい限りです。

魅力ある学校とは、幾つかの条件がありますが、少なくとも私は、次の三つの条件が必要であると考えています。

一つは、「先生が良いこと」であります。設備や環境が良い、伝統がある、立派な人材が輩出している、と言っても最後は先生の良し悪しであると考えております。では、良い先生像とはどういう先生でしょうか。今日のような価値観が多様化している時代には、良い先生という理想像が浮かびにくいのですが、つまるところ私は次のように考えております。

それは、極めて単純に、要は「子供が好きである」かどうかです。子供が好きな生徒ですが、好きであれ

ば、いつも生徒のことを気に掛けそして面倒を見る。悪いときにはきちんと叱る。幸い本校には、少し厚かましいのですが、私を含めて子供が好きで若さとやる気に満ちた先生、また、経験豊富で、自信に満ちた教職員で溢れていることです。

二つ目は、「生徒に対する危機管理に優れていること」であります。学校における危機管理には、明確なマニュアルがないが、要は生徒の学校生活が安全で平穏であること。万一、事故や不穏な動向を察知した場合、直ちに対処する機能と実践力を有していることでもあります。

すなわち、常に生徒の存在を認識しているかどうか、ということであり、このことは勿論、これまでの本校の一貫した姿勢でもあります。

そして、三つ目はPTAや同窓会から期待されてい

ることとあります。学校の教育目標や方針、日々の教育活動がPTAや同窓会の皆さんに支持されるものでなければなりません。特に、同窓会の皆さんからの日頃のご支援は何よりも心強いものであります。さて、生徒諸君は今が腕白盛りですが、一人一人はみな率直で魅力的な生徒ばかりです。それぞれが、進んでおります。幸いなことに不況にも拘わらず、なぜか本校の卒業生は、企業から人気があるのです。このあたりが本校の実力であり、魅力であると自賛しております。

今後とも、会員の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。同窓会総会のご盛況を祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

東京会工会の現状

幹事長

それは新年会一月、卒業式出席二月、会工会だよりの発行四月、総会七月、ゴルフ大会九月、芋煮会十月、会津若松総会出席十一月、以上の行事を固定化する事により、次は何があるのか、各自の意識が昂まつた事によるものである。

近畿会工会の近況

副会長

去る六月八日東海会工会の総会、六月二八日は東京会工会の総会に夫々招待を頂き親交の厚さを感じております。その後九月十四日、近畿会工総会を大阪市「八幸」にて会員二名

地区	会員 (名)	総会 出席 (名)	%
東京	305	80	26
東海	183	33	18
近畿	133	21	16

東海会工会前会長の

会長

昭和58年から14年間、東海会工芸会長として重責を担い、会の発展に尽力されてこられた岩淵博前会長は平成8年11月10日急逝されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。前会長は戦後廃虚と化した日本国の

死を悼む

如何に高齢化しているか
役員の選出にも難色あり。

又、外部の同窓会 会津
高校及び会津高女との懇親
会を含めたミーティングな
どの誘いが会長を通じて申
込みがある。早急に役員会
を開き検討して行きたい。

最後に同窓生のご活躍と
ご健勝を祈ります。以上

又、卒業年度別人数と平均年齢

M	E	K	C	T	科別
13	15	17	19	45	人員
計	G	L	D	A	科別
132	3	4	5	11	人員

嫌い」の方が多い。それでも日本は長寿国である。身の不調を訴え、近くの開業医で受診したところ大病院に転送され、精密検査の結果、果手術が必要と診断され9月20日執刀し、胃を2/3切除して術後の快復に専念された。入院中車の免許更新の日を迎え職業柄車椅子で警署へ向かい手続きを済ませ、非常に喜んでおられた。お見舞いに参上したときは同窓会について、会報への投稿依頼等ご配慮されていた。ご家族、医師団及び関係者一同が必死の看病と最新医学の療法を駆使したのですが、薬石効なく黄泉路へと旅立たれた。享年66歳でした。最後まで同窓会にご配慮を賜わり敬服しております。前会長の死は当会にとつて誠に痛恨の極みであります。葬儀は名古屋市内の

猪苗代会工会

猪苗代会工会

寺

崎敏凰

場であめやかに相宮まわ
り開田係及び各地区の会工
から用度、お供等多数戴
けり難うございました。
王をお借りして厚く御礼
申し上げます。

昭和十一年生まれは生育期
中戦後の物資欠乏の時
であつたので弱者が多い
と告われております。これ
は人差もありますが同年
及び諸兄くれぐれも自
己のご活躍されますよう
に祈り申し上げます。今年
は前盆には前会長宅へ焼香
多しました。

淵運輸はご子息二人が
主となり、客の要望によ
りブックも二台追加し30
名の社員一同故人の意思
を継ぎ懸命に頑張つて
います。益々の発展が
できます。諸兄のご支
援の程よろしくお願
いします。

以上

郡山会工会の今昔と随感

幹事長

久

郡山学生会の創立は戦後間もなく結成され、今は故人もなれた渡部さん（元郡山議会副議長、勲四等瑞宝章、藍綬褒章受賞）さん

山市内に在住する会員の名簿を集めたいただき、現在会員の募集を行ない増員するよう活発な運動を展開しているところです。

を会長とし主として市内の各企業の人達七十数名の方々と活動をしてきました。その間東京会工会との交流も其の現在も続いています。其の後述中で諸般の事情があり一時活動が中止されましたが、昭和六十一年に現役員の菊地子之吉さんが大変苦労され会員の再募集を行ない再び活動を開始現在は一〇〇名近くの会員を要し毎年盛大に総会を開く学校を深めております。学校も近く創立百年を迎えることになり学校より郡

私も思い出多い学舎を離れて早五十幾年の歲月が立ましたが、いつも思い出されるのは友と学んだあの青春時代の頃が昨日の様になります。同窓会の会合も同級会の集まりでも酒を酌みかわしながら話し合う事は互いに学び遊んだ時代の友達の仕事や先生方の事ばかりです。同窓会の目的は学校との連絡を保つことは勿論の事、社会人となつても年老いても同窓生と縦横のつながりが一番大切な事ではなから

会津坂下会工会

会
会

近況報告します。
平成九年九月十九日 第
十九回目の坂下会工総会
を開催いたしました所、学
校長始同窓会より多数の参
加を頂き厚く御礼申し上げ
ると共に、我が坂下会工

会生ここにあり

福島会工会から朗報を一つ。すでにご存知の方も多数おられると思いますが、改めてご紹介いたします。

昨年の功労者叙勲の際に我が福島会工会の顧問をお願いしている星榮祐氏（18M）が、県機械工業会の発展に寄与した多大なる功績が認められ、勲五等瑞

うかと思ひます。特に年をとり先輩、後輩の方々と親しく話し合える事は心の健康には非常に良い場所ではないでしょうか。

お互いに生きた時代は違っても学校で培った質実剛健の気風の様なものは変わらないと思います。友人達と話してより良く聞くと服を着ていた時の気持ちじゃキッツとする」という、会工生としてのブランドがあるのかも知れない。そして母校への誇りは変わってないと思う。もう間もなく創立百年という日が近づく事と思うが、会工生に言いたい事は学生生活を大切に勉強以外に会工でしか見つけられないものがきつとあるはずです。それは一人一人違うと思うが学生時代を通して何かを見つけてほしいと思う。

合戦となり盛大にもり上り、
 童心にかえります。坂下会
 工会ゴルフコンペも毎年行
 え、三年前には会員の木村
 君が、新潟県上川村アイビ
 スゴルフクラブでホールイ
 ンが有りましてびつくりし
 ました。最後に会工健
 児の活躍を期待。
 会員百三十名表

平成九年十月



鉄工、機械関係の重要ポストを歴任または在任中という超多忙な体です。健康に留意され、益々ご活躍されることを祈念申し上げます。

「心のつながりを深めて」

西会津会工会 会長 田崎良東

西会津支部の卒業生は、昭和二十年代は、二年に一回の割合で「朝暁清月」に集い、懇親会を開いていたが、会則を備えて正式に会が発足したのは昭和三十三年三月のことであった。西会津会工会は現在、七十代の高齢者三名をはじめ二十名で構成、会長田崎良東（昭三三K）、副会長石川彦治（昭二一M）、庶務会計渡部登（昭四四A）を中心に活動している。会員には町役場助役、町議会議員、町商工会役員、町老人クラブ役員、町民生児童委員協議会総務、町社会福祉協議会理事、社会教育関係指導員、会社や事業所や商店等の経営者、家庭でゆっくり老後をお過ごしの方、福祉ボランティア活動や趣味を生かした諸活動に励まれる方など様々だが、卒業した殆どの方々が郷里を離れてしまい、残っている方々だけに、相互に励まし合い、支え合って、「心のつながり」をより深めることを目指して活動している。主な事業としては、毎月一日に

米と文化の里 “湯川村”

湯川会工会 会長 山口瑞穂（78）

わが「湯川村」は、会津盆地ほぼ中央に位置する純農村です。村内には、山がなく平坦で地味肥沃な耕地が広がって日本一おいしいお米の産地でございます。当会工会は、25年前初代会長故坂内季佐氏（昭四一T）、二代目故高畑恒夫氏（昭四四K・元農業科長）、現在、三代目会長として不

代表する古刹である。創建当初の寺院名は詳でないが、中世以後勝常寺と称している。創立された当時は七堂伽藍が備わり、盛時には多くの附属建物や建ち並んで十二の坊舎と百余カ寺の子院を有する一大寺院であったと伝えられているが、現在残されている建物は元講堂（業師堂）を除く外は近世以後の建物であり、本坊（客殿）庫裏、中門等で仏像も三十余軀ある。このうち国宝に指定を受けているものに元講堂と仏像九軀がある。講堂は応永五年（一三九八）の再建で会津中央業師堂と呼ばれている。仏像は何れも今から約一九〇余年前、勝常寺が創立された当時から伝えられたもので、これだけ多くの平安

会工電友会の創立五十周年目を迎えて

電気科 二六年三月 会長 真田賢祐

早、創立五十周年目を迎えました。人生もそれだけ多くの年輪を積み重ねた事になります。人の心を計る尺度に、第一には会員が集まる事です。学校は学校と割り切る人が多し事に驚きます。いつか自分一人で歩むことが出来るのだらうか疑問に想います。アメリカの大統領は唯に成立したわけではなく多くの試験を乗り越えてなせることです。わずかに三年間ですが大地に大きく育ち自分だけの殻にならずに新しい人間づくりをして欲しいものです。第二には人を小馬鹿にする人です。人は人にあらず、この種が多いことです。大変残念ながら会津人に多い様です。小さい事柄を大きく吹聴、自分があたかも正しい人間の面をする人です。見た目は大変に立派に見えますが、すぐに「メッキ」がはけ可愛想になります。他人の心を持ってあそぶ種類です。第

建友会

事務局長

本会は本校建築科の卒業生の有志を以て組織し、会員相互の親睦をはかり、毎年2月の総会が主な行事です。昭和24年の第1回卒業生から今年は48回卒業生を迎え、今年は約200名の同窓生の出席がありました。総会には、学校関係と建設関係行政、建設と設計各団体、会議所、地元建設会社と建築専門会社、そして市長さん、代議士と約60名のお客様を含め、東山温泉の会場に宿泊付で盛大に開催されました。

役員構成は、会長に第5回卒業の青山昭一、副会長に第5回卒業の手代木利夫他2名、事務局長に第15回卒業の小山源昭、会計に18回卒業の小山源清、そして各回卒業生の代表の幹事により構成されています。幹事会で運営と行事が決まりますが、総会の会費について、卒業回を5分割し、先輩が出費が大きく後輩は少なくなり若い人達も気軽に出席できる様に定めています。会員は、先輩には定年の人もありますが、建設会社、設計事務所、工務店、建築行政と第1線でそれぞれの地域で活躍していますが、仕事上建築関連業との繋がりが多く、約40社の賛助会体勢があり、うまく運営が出来るのも出席者の多い盛大な行事の理由です。本校はまもなく100周年を迎える事となりますが、建友会も2年後には50回の卒業生が入会いたします。50周年を節目に本校に向け、また地域社会に向け、建友会としてのイベント事業を計画して行こうと考えています。今の社会、政治・経済・教育と問題の多い時ではありますが、建友会の会員相

各 科 紹 介

インテリア科

主任 風間 真一

本校が創立して平成十四年には百周年を迎えようとしています。資料係のインテリア科職員は同窓会会員の皆様に資料の提供や、情報等をお願いしているところです。創立百周年記念行事を成功させるためと百周年という節目にあたり、学校、本科の総力をあげ準備と教育活動に取り組んでおります。

セラミック科

主任 斎藤四志男

同窓会の皆様におかれましては益々御清栄のこととおよろこび申し上げます。さて、セラミック科が昭和61年4月1日に設置されました。この間産業界のバブル崩壊もあり、セラミックスの研究開発にも慎重な対応がなされているようです。しかし、最近の「日本セラミックス協会機関誌」によれば、熱線を遮断する低放射線ガラスが住宅用とて需要が拡大され、またガラスのハードディスク基板、セラミックスサイディング、薄膜セラミックス、多孔性セラミックスなどある分野で急速に発展致しております。

昨年度は不況の真只中でありましたが、県外専門関係に7名、地元8名が就職致しました。進学では、湘南工科大学材料工学科に1名合格するなど健闘し、他の生徒もそれぞれ自分の目的に頑張りました。昨年度は全国セラミック教育研究大会が本校を会場として、11月28日、29日の2間にわたり全国10校が参加して盛大に開催されました。総会、研究会、など行なわれ、教師の研究発表では、本校セラミック科の、村田 光夫が「ナノアモルハス（A-1V）系合金の組織と機械的性質」について、本校X線回折装置の解析法も含めて発表致し成果をあげました。また教育懇談会には、吉田 一栄同窓会長も御出席され盛会に第1日目、2日目は、「文部省初等

化学工学科

主任 鈴木長九郎

同窓生の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと喜び申し上げます。校舎の大規模工事が始まって3年目、今年度は化学工学科を含む南一棟西側内部の工事となり、夏季休業か

中等教育局職業教育調査官に佐藤 義雄先生の講話に続き「社法」日本セラミックス協会教育委員会副会長で、東京工業大学教授松尾 陽太郎先生より「セラミックスの強度特性と評価理論」について講演があり盛大に終了致しました。同窓会の諸先輩には温かい御支援をいただき誠に有難うございました。最後にになりましたが、10月25日（土）26日（日）は伝統の「会工祭」が開催されます。セラミック科でも種々の公開を予定しておりますが、校舎などの改築工事などがあり縮小せざるを得ませんでした。その間に生徒と共に頑張りますので是非御覧下さい。諸先輩各位の御健勝と御多幸を祈念申し上げます。近況の御報告と致します。

セラミック科

主任 斎藤四志男

同窓会の皆様におかれましては益々御清栄のこととおよろこび申し上げます。さて、セラミック科が昭和61年4月1日に設置されました。この間産業界のバブル崩壊もあり、セラミックスの研究開発にも慎重な対応がなされているようです。しかし、最近の「日本セラミックス協会機関誌」によれば、熱線を遮断する低放射線ガラスが住宅用とて需要が拡大され、またガラスのハードディスク基板、セラミックスサイディング、薄膜セラミックス、多孔性セラミックスなどある分野で急速に発展致しております。

昨年度は不況の真只中でありましたが、県外専門関係に7名、地元8名が就職致しました。進学では、湘南工科大学材料工学科に1名合格するなど健闘し、他の生徒もそれぞれ自分の目的に頑張りました。昨年度は全国セラミック教育研究大会が本校を会場として、11月28日、29日の2間にわたり全国10校が参加して盛大に開催されました。総会、研究会、など行なわれ、教師の研究発表では、本校セラミック科の、村田 光夫が「ナノアモルハス（A-1V）系合金の組織と機械的性質」について、本校X線回折装置の解析法も含めて発表致し成果をあげました。また教育懇談会には、吉田 一栄同窓会長も御出席され盛会に第1日目、2日目は、「文部省初等



工業基礎	3		
実習	4		6
工業数理	2		
情報技術基礎	2		
課題研究		2	
工業化学	2	3	
化学工学	2	3	
化学システム技術		2	
化学工業安全		2	
*印は選択科目			

実習関係について、現在
工事中のため例年の様な取
り組みが出来ませんが、他
の学科の協力をいただいで
実習を行っています。実験
実習の装置ですが、この9
月に「原子吸光分光光度計」
が導入されました。これに
より新しい実験実習ができ
ることで喜んでます。「原
子吸光分光光度計」につい
て述べますと、この分析法
は、「基底状態にある原子
の蒸気に特定の光を当て
ると、その原子に特有の光が
吸収される」この現象を利用
して目的のものを定量する
ものであります。これは、
生物学、医学、食品、金属
化学工業、農業等に広く応
用されます。これから研究
を重ね、多くの分析に対処
できるようにしていきたい
と思っています。

進路状況について、平成
8年度は、就職希望が23人
で、非常に厳しい状況でし
た。進学希望は13人で多く
は専門学校への進学でし
が、4年制大学に2名(日
本大学工学部、石巻専修大
学)合格しています。今年
度は、就職希望が22人。昨
年度より景気もよくなる
ことだったのですが、ふ
たを開けてみればやはり厳
しい状況です。今回、就職
試験の時に先輩の方に激励
され、緊張もとれてもて
る力を発揮できたという生
徒もおります。本当にあり
がとうございました。これ
から進学の方もはじまり
が、卒業までには、就職
進学とも目標達成できる
ものと思っています。

今後とも先輩の皆様のご
支援・指導を心よりお願い
申し上げます。

電気・電子科

電気科主任 佐藤 春樹
電子科主任 小沼知久平

電気科創設五十二年、電
子科三十七年の秋を迎え
ました。施設、設備の不
十分な創設期に新しい専門知識
を求めて勉学に励まれた
方々、汗水を流し実習機器
の据付けに携わられた先輩
方等々の時代を経て、電気
科、電子科の鉄筋コンクリ
ート校舎が完成したのは、
昭和三十一年のことでした。
しかし、その校舎も三十
年を経過して本校で最も古
い建屋となり老朽化したた
り、平成八年から九年に渡
って大規模改修工事が行
われました。

今年度は、新校舎のよう
に明るく整備された環境で
勉学に励んでいます。
電友会五十周年記念行事
の一環として寄贈いただい
た、自動制御実験装置は、
有効に利用しております。
プログラマブルコントロ
ーの実習装置です。即ち
シーケンス自動制御専用の
小形コンピュータを組み込
んだもので、自動化の進む工
業技術の基本を学ぶ装置と
して最適と思ひ購入させて
いただきました。

平成八年度の就職につ
いて、平成八年度の就職につ
いての特徴は、地元希望者が
増加傾向にあります。不
況のため求人企業も少な
い。

平成8年度		電気	電子
種 別	科	11	13
	就職	18	9
就 職	公務員	0	2
	大学	3	4
進 学	専門学校	4	8
	浪人	0	1



今年度は会工祭の年に当
つています。先輩方の活
ある活躍や、会津で初めて
のテレビ実演など華やかだ
った学校祭も、現在は産業
界の進歩、情報伝達や流通
機構の発展のため物めずら
しき失せ入場者が少なく
なりました。

その結果、原点に返った
日常の学習活動の発表が主
になります。生徒達の思
い出となる会工祭とするた
め十月二十五日、二十六日
に向って努力をしています。
その他の活動としては、
相模ロボコン大会(全
国)に参加し活躍しました。
更に、マイコンカーア
イデア競技(県)、生徒研究
発表会(県)等への参加を
目指して準備を進めており
ます。

生徒の進路状況は次の通
りです。
機械科主任 吉田 孝男
最近NHKで技能オリ
ンピック特別番組が放送さ
れた。二〇〇〇分の一ミ
リのたかひ、という番組だ
ったかも知れない。
日本の技術がすばらしい
勢いで成長していた数年前
までは、旋盤・溶接・板
金・精密機械組立等々の二
メダルが取れたようであ
る。それが最近では金メダ
ルが最近では金メダルは
言うように及ばず、銀や銅
メダルでも獲得する事が
むずかしい。そして今年
は、金メダル二個という惨
敗に終わった。各国
でもこの技能オリンピック
にかける熱意は相当なもの
で、その国の技術の水準を
示すバロメータになって
いるからである。その為
にこの大会に出場する選手
は、国内予選を通過し、その
上での厳しい訓練をして参
加する。まさに、国の威
信をかけて出場するもので
ある。番組の中でも数値制
御の工作機械を使って部品

加工して行く場面があつた
が、選手はカウンターの目
盛など全然見ない。自分の
ハンドルを動かす。感
度で二〇〇〇分の一ミリの
位置を調整していくのには
驚いた。

今年の技能オリンピック
の不振の原因について番組
では何もふれてはいなかつ
たが、非常に考えさせられ
るものであった。
情報技術の進歩と普及は、
誠にめざましく今日の産業
の形態を大きく変えた。機
械工学の分野でも数値制御
の付いている工作機械が主
流になっている。精度や
生産率の面で著しい改善が
なされている。しかし反面、
生産現場から熟練労働者が
姿を消してしまっている。
この事は、非常に大きな問
題を起している。

観点を変えて、産業界に
人材を供給している工業高
校を見るとき、確かに工業
に魅力を感じ、目的意識を
もって学習や資格取得に取
り組んでいる生徒もいる。
毎年開催される県下高校ロ
ボット競技大会には、夏休
みの殆どを費やし、又、
放課後も遅くまで制作に没
頭している生徒達を見るに
工業高校のあるべき姿に
触れた思いで感動する。し
かし、一方においては、入
試の段階で輪切りされ、工
業には興味も関心も示さ
ず、無目的で毎日すごしてい
る生徒も多数見受けられる。
不況とはいえないが、求人
の絶対数はまだまだ多く、
進路に対する甘さが、学習
への真意を失なわせてい
る。生徒にだけ今日の種々
な問題の原因を負わせる事
は適切ではない。教師や教
育行政の責任が大きい事は
言うまでもないが、このま
ま行けば先に述べた生徒の
極端の傾向は拡大すること
が予想される。産業界への
優れた人材の供給はますます
困難になっていくだろう。
私達の周囲を見れば、物
があふれている。価格が暴
落し、物にに対する信頼
と愛着が失なわれている。

情報技術科

主任 東條 憲

こうした社会情勢の中で、
物づくりへの情熱はむ
ずかしい。
この番組を見ていろいろ
考えさせられた。
日本における技能オリ
ンピックの再生は、可能で
あろうか。

黄菊白菊が垣根に咲き乱
れ、秋が日ごとに深まるこ
のころ、会工同窓会会員の
皆様にはますます御健勝に
て御活躍のこととお喜び申
上げます。
さて、平成元年度に学習
指導要領が改訂された中
情報教育が改訂の大きな柱
になっていた。特に工
業の各分野における急速な
情報化の進展に配慮して、
工業各学科に共通に履修さ
せる科目として「情報技術
基礎」が新設され現在各学
科の第一学年で履修されて
おります。

四月には、第二種情報処
理技術者試験に二名の合格
者を見ることで、清陵
情報高等学校とともに、民
報、民友に掲載された。
九月には、第四回ロボ
ット競技大会福島県大会に
二年生チームと三年生チ
ームの二機が参加し、三年
生チームがベスト16位に入
賞しました。二年生チーム
の来年度の活躍が期待され
ます。又、ロボット相撲大
会(東北ブロック大会(青森
弘前市))には、昨年に引き
続き自立型部門で二度目の
挑戦に第五位(第四位
まで全国大会出場)という
輝かしい成果を収めました。
両大会とも、生徒諸君が寝
食を忘れた努力したことは、
申すまでもありませんが、
御指導された石山先生の情
熱と指導力によるところが
大きかったものと思われま
す。改めて参加された皆さ
んに敬意を表したいと思います。

今年度の就職内定者は、九
月末までに十五名で、現在公
務員も含め四名が内定待ち
か、受験書類申請中です。
進学希望者は、推せん受験
が会津大学二名、東北工業
大学一名、岐阜医療短期大
学一名、一般受験四名、専
門学校十三名となっており
ます。
十月二十五日、二十六日
は、三年に一度の会工祭が
開催されます。情報技術科
では次の五つのテーマと内
容で公開展示・発表をする
予定です。同窓会員の皆様
には、ぜひ本校にお運び下
さいまして、後日皆さんの
御意見、御指導を賜わ
りますようお願い申し上げ
ます。

一、コンピュータアミュー
ズメントパーク
内容、①ゲームコーナ
ー ②ブリクラ
③Tシャツア
プリント販売
二、メカトロニクスコーナ
ー
内容、①ライントレー
サ ②ロボット
相撲 ③お茶運

びマシーン ④
マイクロマウス
マイクログラ
フ
内容、一〇〇〇個のネ
オン管を五台の
ボケコンで、各
種パターンプロ
グラムで制御し、
幻想の世界を作
ります。

四、インターネットアラ
カルト
内容、①体験的インタ
ーネット ②生
徒課題研究によ
るホームページ
の作成 ③生徒
課題研究アニメ
ーションの作成
内容、①超伝導リニア
モーターカー
②生徒課題研究
GPS ③シャ
トル・ロボット
の展示

五、コンピュ
タラ
内容、①超伝導リニア
モーターカー
②生徒課題研究
GPS ③シャ
トル・ロボット
の展示

建築科

主任 渡部 泰博

昨年は大変お世話になり
ました。本年度建築科職員
に移動はなく昨年と同じメ
ンバーです。但しクラス担
任は3年は国語科の本田一
弘先生、2年は菅原慶広先
生、1年は内藤陸朗先生で

建築科3クラスの学級経営
にあたっております。
本年三月に卒業しました
生徒達の進路について昨年
この時期に一部掲載しまし
たが最終的に就職者18名
(2名県外)専門学校10名
大学・短大12名です。今年
度は政府の行政改革等によ
る公共投資抑制等により建
設関係会社が厳しい状況に
ありますが、卒業生の皆様
の活躍により会津工業高校
の建築科の生徒を採用した
との各会社の意向によりこ
の時期において就職希望の
男子生徒17名全員内定を得
ることができました。しか
し女子に対する求人が厳し
いです。来年度は是非女子
に対する求人をお願いし
ます。

昨年より建築科において
生徒が3年間学んだ成果の
一部を校外で地域の人達に
見て頂くという事で市内町
方伝承館にて3年全員の自
由設計と一、二年生の製図
模型の一部を展示する機会
を設け実施し好評を得まし
た。生徒の作品を展示する
ことにより生徒に作品に対
する取り組みと学習に対する
意欲の向上を願っております。
昨年より実施されました
国家試験建築技術者試験に
おいては生徒の頑張りに

ある生徒会総会では、厳し
い財政難の中役員一丸とな
って、各部、委員会の希望
にできるだけ添えるように
頑張りました。その結果、
生徒会総会当日は意義もな
く全会一致で議決すること
ができました。
7月9日、10日に行なわ
れた球技大会では、雨の中
でも全校生徒が各クラスの
ために一生懸命の姿が見ら
れました。各クラス全員が
一致団結できた球技大会が
できて生徒会執行部として
は、「大成功」と感じてい

各部紹介

生徒会執行部

顧問 栗城 一郎

高久 礼子

松本 善法

田中 哲

生徒会長 鈴木 裕幸

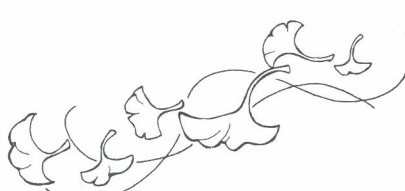
本年度の生徒会役員改
選時の選挙において会長と
副会長が久しぶりの選挙と
なり、本年度の生徒会は例
年になくいろいろな気が感
じられていきます。

新生徒会役員の初仕事で

り10名の合格者をだすこと
ができました。
今年度は三年に一度の学校
祭との事で生徒、職員が共
に考えて日頃の学習を発表
する場となりました。卒業生
の皆様にとっては在学中の
事が思い出された事と存じ
ます。今後21世紀に向けて
建築科の伝統を新に築くべ
く生徒の自発的・創造的な
学習態度を身につける事が
できよう指導していきます。
最後に同窓生の皆様にも、
地元就職希望が多くなって
おりますので毎年求人の方
をお願いいたします。また、卒業
してから社会においても
一人前になるまで宜しくお願い
いたします。

又、本年度は三年に一度
の会工祭が開催されるとあ
って、生徒会役員一丸とな
って成功に向けて頑張つて
います。先輩方の残した伝
統に恥ぬよう今度以上に
すばらしい会工祭にしたい
と思います。全校生徒みん
なで盛り上げたいと思いま
す。全校生徒だけでなく、
見に来ていただくお客様方
にも最高の思い出となるよ
うな会工祭にするように頑
張りしたいと思います。

また、本年度は三年に一度
の会工祭が開催されるとあ
って、生徒会役員一丸とな
って成功に向けて頑張つて
います。先輩方の残した伝
統に恥ぬよう今度以上に
すばらしい会工祭にしたい
と思います。全校生徒みん
なで盛り上げたいと思いま
す。全校生徒だけでなく、
見に来ていただくお客様方
にも最高の思い出となるよ
うな会工祭にするように頑
張りしたいと思います。





吹奏楽委員会

顧問 佐藤 容子
高橋 浩二

昨年、第16回定期演奏会を終え、3年生が引退してから私達がしたことは、「自分達はどのようなところで迷惑をかけているか」について話し合いました。音を出す部活なので、同じ校舎を使う会津二高、仕事をしている先生方、学校の周囲に住む人達、大会に出場すれば学校に、県大会に行けば会津に等、さまざまな意見が飛び出し、そこで自分達は、何をすべきかが

だんだん分かってきました。部活がやりたくなるような環境をつくるために履き物をそろえる、掃除、あいさつ、授業をしつかり受けるなど、強制はせずに、自分の力でできることから始めました。とてもいい雰囲気です。活動が進んでいきました。しかし、その状態を維持することはできませんでした。夏に行われた福島県吹奏楽コンクールでは、県大会に出場することはできませんでしたが、全員が一つになつて音楽をつくることができました。結果を聞いても何の感情も生まれませんでした。

現在、第17回定期演奏会

に向け練習しています。すべてが終わった時、何らかの感情をもつことができれば、それが私達の吹奏楽部です。

山岳部

顧問 小荒井 幾雄
菅野 久美子
五十嵐 進

残雪の山々、夏の北アルプスの山々、紅葉の山々等、重い荷物と汗と涙(?)の大変な思いとともに厳しく美しい山々に抱かれて、会工山岳部の山行が今年もつづけられました。

四月の新人歓迎登山(雄国沼・猫魔岳・磐梯山)から始まり、高体連地区大会(浅草岳)県大会(三岩岳・窓明山・会津駒ヶ岳、夏山合宿(白馬三山)、地区新人大会(二岐山)、県新人大会(赤面山・三本槍・甲子山)とそれぞれ思い出深い山行でした。高体連県大会においては二年連続優秀パーティーに選ばれたなど、力を付けてきています。来年は全国大会へ、とはやくも思いを馳せております。

ただ今年是一年生がひとり先々が少々心細く、一年生大募集の声をあげていくところですが、現在は会工祭にむけて「これが山岳部だ」という企画をたて、短い準備期間



を山行のチームワークでカバーして、鋭意取り組んでいるところ。今後は地区技術講習会(ザイル・ワイフ)、秋山合宿(三岩岳・巽沢岳)、春山合宿(高曽根山)を予定しています。厳しい条件の中でそれに負けない体力、気力、判断力を養い、自然と共に生きる力を育てて生きていきたいと思っています。

私は今年始めて山岳部顧問を担当していますが、ベテランの小荒井先生や若手の菅野先生の熱心な指導を側で見ながら、山岳部の他のスポーツとは違う厳しさや暖かさを感じつつ、山岳部の魅力に強くひかれております。個人的なことになりませんが、以前と違い、テレビ、新聞等で報道される山の事故のニュースには非常に敏感になりました。我々高校生山行のコースでも事故が起こっている、それが生死に関わる事故であることを思うにつけ、部の活動におけるふだんの研鑽と準備における細心の注意が必要であること、現地における状況判断の的確さに裏づけられた行動力、部員各個人の気質や体力の把握等々、総合的な行動力、判断力が要請されていることを身のひきしまる思いで受けとめている昨今です。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

サッカー部

顧問 十二所 宗紀
緑川 誠

「声を出して、楽しくサッカーをしよう」を合言葉として、現在県で上位の成績を残すことができるよう練習に励んでいます。最近の成績は、7月26日から28日にかけて行われた全国高校サッカー選手権一次予選では、勿来高校に延長までもつれながらも2対1、埼玉工業戦では、3対1と勝利して二次予選に出場が決定しました。二次予選は11月8日から再開します。まだ相手は決定していませんがベスト8以上に残れるように頑張りたいです。

チームを分析すると、気持ちの乗る力が出せない事が安定した力が出せない事が原因です。自分を信じて、仲間を信じて、全員で攻めて全員で守る。そのために一人一人の技術、チームとしての技術の研究に努力しなければならぬ。ここに来て、一年生の成長がめざましく、非常にうれしく感じています。会津工業サッカー部の伝統に新たな一ページを加えることができるよう頑張っていきたいと思っています。

バレーボール部

顧問 古畑 一男
志田 馨

三年生六人が抜けたあと、二年生四人と二人の新人を迎えた一年生九人、さらにマネージャー二人で新人戦を目ざしてがんばっているバレーボール部です。

地区大会のみならず、県大会上位・さらに上を目指して、基礎基本を大切にチーム一丸となる連携プレーの向上に取組んでいます。しかし、的確なその場の判断とせり合った時のがんばりには何より体力が勝負であり、日頃の地味な練習の積み重ねこそが大切で、すべてにつながる大切な心構えです。

いつでもよりっぱな体育館で練習できる事をあたり前と思わず、時間を大切に一つ一つのプレーを自分のものにしていく意欲と努力が大切です。

今年の最初の大会である高校大会地区大会では二位以下星のつぼし合い。結局得点差で四位に終る。勝負に対する厳しさが、気のゆるみが出てしまった。

高校大会県大会は四つの壁、今回も相馬に歯が立たなかった。

会津総体は三年生六人が抜けたあとの最初の大会と

名、一年生五名の新しいチームで練習に励んでいます。今年のインターハイ県大会では、昨年の雪辱をはたし団体戦において優勝シングルでは二位、ダブルスにおいても優勝、三位と良い成績を残すことができた。さらには目標であったインターハイ出場を達成することにも成功しました。さらにも全県選抜大会出場を目標に、来年のインターハイにつながるように練習を積み重ねていくつもりです。

ソフトテニス部

顧問 菊地 寿雄
只木 丈夫
川口 芳彦

昨年の御報告から一年を振り返ってみると、今年度は三年生男子四名と女子二名が主軸となつて戦つてまいりました。結果として男子は今年一つの壁を破れず、県大会での上位には近づけませんでした。また、特筆すべきは今年女子一年が加入した事により、始めて女子団体が参加できた事です。う。三年女子にとっては念願の出場であり、個人戦でも県大会へ二度駒を進める健闘を見せてくれました。男女とも三年間の練習成果が実る結果となりました。

近年、高校生のソフトテニス人口が減少しており、国際ルールダブルスでの団体地元開催後、技術のダイナミックな展開と、メンタルの要素のからみ合う、楽しいスポーツとしての発展を目指しています。我が部においても部員の減少は見られますが、高校生活の部活動でしか得られないものを、ソフトテニスの白球を追いつながら、部員顧問一丸で頑張つてまいります。先輩諸氏の御支援をよろしく願ひいたします。OBの方々にはぜひコートに来ていただき、後輩とともに汗を流しながら御指導いただければと願っております。以上

バスケットボール部

顧問 三原 敏男
主将 高崎 俊輔

僕達は「スピードのあるチーム」を目標に、先輩達が引退してから頑張ってきました。先輩達がぬけてすぐには大会がありません。優勝はできなかったものの、新しいチームのスタートは、僕達にとっては上出来でした。

僕達は「スピードのあるチーム」を目標に、先輩達が引退してから頑張ってきました。先輩達がぬけてすぐには大会がありません。優勝はできなかったものの、新しいチームのスタートは、僕達にとっては上出来でした。

僕達は「スピードのあるチーム」を目標に、先輩達が引退してから頑張ってきました。先輩達がぬけてすぐには大会がありません。優勝はできなかったものの、新しいチームのスタートは、僕達にとっては上出来でした。

僕達は「スピードのあるチーム」を目標に、先輩達が引退してから頑張ってきました。先輩達がぬけてすぐには大会がありません。優勝はできなかったものの、新しいチームのスタートは、僕達にとっては上出来でした。

僕達は「スピードのあるチーム」を目標に、先輩達が引退してから頑張ってきました。先輩達がぬけてすぐには大会がありません。優勝はできなかったものの、新しいチームのスタートは、僕達にとっては上出来でした。

僕達は「スピードのあるチーム」を目標に、先輩達が引退してから頑張ってきました。先輩達がぬけてすぐには大会がありません。優勝はできなかったものの、新しいチームのスタートは、僕達にとっては上出来でした。

僕達は「スピードのあるチーム」を目標に、先輩達が引退してから頑張ってきました。先輩達がぬけてすぐには大会がありません。優勝はできなかったものの、新しいチームのスタートは、僕達にとっては上出来でした。

野球部

顧問 栗城 一郎
村山 彰一
大塚 久泰
渡部 巧
主将 稲生 貴晃

「甲子園で勝つ」をチームの合言葉とし、二年生12名一年生22名で毎日練習しています。今年の夏の大会は、シード校の湯本高校に

惜しくも敗れ涙をのみました。その時、先輩方のためにも必ずみんなで強いチームを作つていかなければならないと心に誓いました。

夏休み、倒れそうな熱さの中全員元気を出して頑張りました。そして試合を重ねるにつれ着々と力をつけて行き秋の全県大会では、優勝することができました。

僕達は「スピードのあるチーム」を目標に、先輩達が引退してから頑張ってきました。先輩達がぬけてすぐには大会がありません。優勝はできなかったものの、新しいチームのスタートは、僕達にとっては上出来でした。

僕達は「スピードのあるチーム」を目標に、先輩達が引退してから頑張ってきました。先輩達がぬけてすぐには大会がありません。優勝はできなかったものの、新しいチームのスタートは、僕達にとっては上出来でした。

僕達は「スピードのあるチーム」を目標に、先輩達が引退してから頑張ってきました。先輩達がぬけてすぐには大会がありません。優勝はできなかったものの、新しいチームのスタートは、僕達にとっては上出来でした。

僕達は「スピードのあるチーム」を目標に、先輩達が引退してから頑張ってきました。先輩達がぬけてすぐには大会がありません。優勝はできなかったものの、新しいチームのスタートは、僕達にとっては上出来でした。

僕達は「スピードのあるチーム」を目標に、先輩達が引退してから頑張ってきました。先輩達がぬけてすぐには大会がありません。優勝はできなかったものの、新しいチームのスタートは、僕達にとっては上出来でした。

僕達は「スピードのあるチーム」を目標に、先輩達が引退してから頑張ってきました。先輩達がぬけてすぐには大会がありません。優勝はできなかったものの、新しいチームのスタートは、僕達にとっては上出来でした。

僕達は「スピードのあるチーム」を目標に、先輩達が引退してから頑張ってきました。先輩達がぬけてすぐには大会がありません。優勝はできなかったものの、新しいチームのスタートは、僕達にとっては上出来でした。

剣道部

顧問 佐藤 善久
田中 哲
部長 野原 勇一

「甲子園で勝つ」をチームの合言葉とし、二年生12名一年生22名で毎日練習しています。今年の夏の大会は、シード校の湯本高校に

我々剣道部は、二年生五名、一年生三名、計八名の少ない人数ですが、日々充実した練習に汗を流しています。

今年のインターハイ県大会の結果は、昨年と同じ四位入賞で、県総体は、三位入賞と県では必ず上位に名を連ねる実力をつけてきました。しかし、その大会を勝ち上がった先輩方十二名が引退して一、二年生の新しいチームになった今、課題が次々と出てきました。

先輩方との違いが身体的、精神的弱さが夏休み前の練習ではつきりとわかったので、一から練習メニューを変えて自主トレーニングを行ない、練習時間を長くしました。夏休みは、部員全員が長所をのびし短所をなくすようにと必死に練習に励みました。その結果、動きや忍耐力の面で少しずつですが練習にあらわれてきました。これから秋、そして冬、これからの練習をもつて一人一人課題をもつて気を抜かず努力していきたいと思っています。

これからの目標は、先輩方の果たせなかった全国大会、東北大会出場ですが、この目標を達成できるように、部全体が覇気あふれるように、そして、部の団旗である「不動心」を心に置いてチーム一丸となつて頑張っていきたいと思っています。

顧問 高原 啓二
渡部 哲
高橋 利雄

僕達は、三年生が抜けてから、団体戦では一年生主体のチームになっていました。新人戦では、新チームになってから、初めての優勝をあげることができました。僕達の目標は、県

柔道部

顧問 高原 啓二
渡部 哲
高橋 利雄

僕達は、三年生が抜けてから、団体戦では一年生主体のチームになっていました。新人戦では、新チームになってから、初めての優勝をあげることができました。僕達の目標は、県

僕達は、三年生が抜けてから、団体戦では一年生主体のチームになっていました。新人戦では、新チームになってから、初めての優勝をあげることができました。僕達の目標は、県

渡部 明仁
益子 茂

向上させるため、一学期は時間走や、その場サーキットを行い、夏休み中は各セクションにおける強化合宿や学校合宿があり、ランニングはもちろん、ローラー

今、弓道部では一、二年生の新チームで活動しています。昨年から大きな大会では高成績を残せないまま春を迎え、部員が増えた今年こそはと思い、日々の練習を大切に努力しています。

風間 真一

岩淵 浩之

自分の能力を高めるために大切なことだと思います。試合で勝ちたいと思えば思うほど努力をおしまないで練習に取り組まなくてはならないのです。その結果、先輩方も毎年のようにインターハイに出場しており、部員は先輩方を越えられるような成績がおさめられるような目標としています。ボクシングはよく自分との戦いとも言われているので自分にも勝てるように、これからも一生懸命頑張っていきたいと思っています。

北林誠一郎

涉井 祥雄

顧問 渋井 祥雄

今年の春の発表会では部員十一名でハッスルしました。その題名は「ストーカ―」愛ゆえの罪とジェラシ

「デザイン、命のきらめくあの日の思い出」と大変に副題の長いもので、その内容は刑事ものにちよつとコミカルな恋愛をスパイスとしてかけたものでした。

評価は少々前衛的な要素が多すぎて、ついてきていけないものでした。もうすぐ(10/27・28)秋のコンクールなので、前衛的な試みは一割程度にして、民衆の心をつかみたいと思います。

夏の話にもどりますと、今回の夏季研修は相馬海岸自然の家で二泊三日の日程で開催されました。中央より講師をまねいて県下の高校演劇部員と一緒に汗を流し、夜おそくまで、また朝は早くから稽古をして一つの小品をつくりました。今後にいかされればと思います。

再度秋のコンクールの件。三年生の大部分が引退し、部員八名での参加になりましたが、もちろん県大会をめざしての稽古になりますので、どうぞ応援のほどよろしくおねがいします。

自転車競技部

顧問 松本 善法
菅家 慶広

部に昇格して2年目の今年、1年生3人が入部して、6人のメンバーで平成9年の活動がスタートしました。朝練で1日が始まり、放課後も時間を有効に使って練習してきました。今年は、昨年以上に練習に熱が入り、個人が目標を立てて練習してきました。目標にしていたインターハイには、行くことができませんでしたが、個人・団体競技では、東北大会に行くことができました。部に昇格して初めてのチームロード競技・イタリアンパシユートレースで東北大会に出場できたのは、部員全員にとって、いい経験になりました。また、夏休みは、他校との合同合宿やツールド東北の県選抜選手としてこの会津工業自転車部からレース参戦したりと全日本ジュニアのロード合宿に参加するなど、本当に有意義な夏休みだったと思います。

JRC同好会

顧問 松本 靖弘
高久 礼子
部長 羽賀 祥雄

我々、ジュニアレットクロス同好会は、30名でも活動しています。活動内容は、大きく分けて校内、校外、個人ボラティアの三つに分かれています。校内の主な活動は、年三回の古紙回収と使用済

みテレフォンカードの回収、赤い羽根、緑の羽根共同募金、献血の呼びかけと協力です。

校外の主な活動は、二十四時間TVへのボランティア協力、街頭募金の協力、わたぼうしの会への協力、などです。個人ボランティアは、老人ホームに訪問したり、サマーショートボラ

ンティアに参加したり自由に活動をしています。私達は、これからの自分

のため、人のため、地域のために活動をし、ボランティアのすばらしさを少しでも多くの人に知っていただくため協力しあい、仲良く頑張っています。

コンピュータ同好会

顧問 石山 晶一
本田 毅

我がコンピュータ同好会は、一年生三十七名、二年生十九名、三年生九名という大勢の部員で構成されています。本年度の活動内容は、シヤトルロボットの製作CG、マルチメディアや第2種情報処理などの資格の受験、そしてインターネットなど

本年度の活動内容は、シヤトルロボットの製作CG、マルチメディアや第2種情報処理などの資格の受験、そしてインターネットなど

シヤトルロボットは、おしくもベスト16となり東北大会へと駒を進めることはできませんでしたが、資格などの学問の面では、勉強の成果があつて多くの部員が合格することができました。本年度から本格的に新しいコンピュータシステムを使用するようになり、昔と比べるといろいろな面で便利になりました。特に末端同士がLANでつながっているという点に大変興味をもち、今年度の課題は、本年度以上に各種大会への出場をし、実績を残すこと、システムの有効的な活用をして、ぜひ部に昇格して欲しいと思います。

進路指導のあり方

進路指導主事

山口 栄一

卒業生がピークであった平成二、三年度を境として、高校生の進路状況は大きく変わりました。それは、平成元年度までほぼ三十%前後で推移してきた大学、短大進学率が急速に増加し、今は三十九%位です。それに専修学校等の進学者三十%を加えると、全体の約七十%が上級学校へ進学しているのです。従って就職者は約二十四%、残りは無業者であります。高校卒業者のこのような上級学校への進学率の下で、進学に対する考え方が、「みんなが進学するのだから自分も進学しなければならぬ」という考え方に変わっているのが現状です。

さて本校での三年生当初の希望は上級学校希望者三十五%、就職希望者六十五%と例年とも大差ありません。しかし一年生の時の希望時では進学希望は五十数%の多くを数えています。卒業時には七割近くが就職していますので、まだまだ本校は就職を主にした学校と言えるでしょう。しかし入学時では半数以上の多くが進学希望であるこの実態を十分視野に入れた進路指導のあり方が問われているのです。前述した進学への考え方、どの方向を中心

に考えた三年間一貫した進路のあり方を確立せねばなりません。本校でも学力を定着させつつ向上を図り、対外的競争力を高めるための方策を検討し、導入を初めました。

さらに進学者への段階を経た指導、並びに進路指導の構築化を確立するため努力を重ねております。その結果、本年は次のような事業を実施しました。

1、学校の創意に基づく事業として大学訪問(九校)、予備校視察、T.T方式の視察、小論文指導、2、教員の意識啓蒙、指導力向上を図るための研修として、東京成徳大今井五郎教授による「個を生かす指導のあり方」を主

題とした講演会、3、生徒に対する進路講演会として、各学年とも講師を招へいしての進路別講演と指導、4、生徒に対する上級学校見学会として一年いわき明星大、二年東北工業大、三年日本大学工学部を訪問し、又それぞれ専門学校も一緒に見聞し、経験を重ねる。

5、教員による指導資料の作成として進路の手引きや進学指導資料をまとめ、6、進学情報システムの活用としてハートシステム、インターネット、CDロムを導入、7、その他マークカードリ

ード、外部学力テストなどを導入し、以前からの指導方針に加味し、さらに密度を高め、多くの条件情報並びに適正情報を与える。

これらのことにより、生徒個々が自ら自主的に正しい進路選択ができるよう取り組んでおります。本校において前述のとおり入学時の進学希望者は年々高まることは間違いな

平成九年度の人事異動により、お送りした先生方、お迎えした先生方を紹介します。

平成九年度 教職員異動

〈転出者〉 転出先

〈転入者〉 前任校

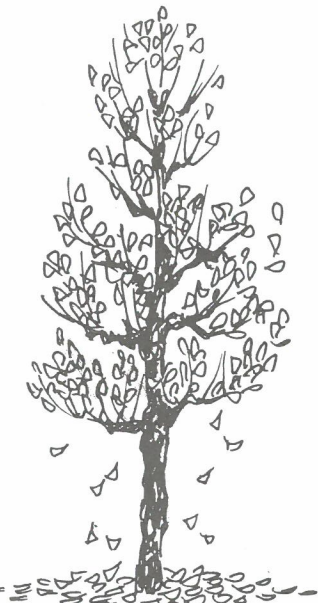
主任等一覧

猪狩次夫	校長	郡山北工	郡司正孝	校長	埼玉高	主任名	氏名
稲田盛夫	教諭	退職	浅和勝利	教諭	喜工高	第一学年	小熊 常輝
紺野晋吉	教諭	退職	山田忠明	教諭	喜工高	第二学年	笠井 英雄
高山 亨	教諭	退職	五十嵐進	教諭	喜工高	第三学年	三原 敏男
小林満美	教諭	退職	星野恭代	教諭	田島高	教務部	本田 毅
末永充行	教諭	猪苗代高	田村順子	教諭	新採用	生徒指導部	猪俣 薫
佐竹勝行	教諭	平工高	緑川 誠	教諭	新採用	進路指導部	山口 栄一
樋口義容	教諭	喜商高	谷井かほる	実教	大沼高	保健部	佐藤 善久
渡辺元二郎	教諭	勿米工高	栗田克志	実助	郡山北工	図書部	湯田 厚
大槻由紀	実教	大沼高	渡邊 修	実助	新採用	インテリア科	風間 真一
芳賀 一夫	実講	二本松工	稲田盛夫	常講	新採用	セラミック科	斎藤四志男
橋内哲治	常講	退職	小林満美	時講	新採用	化学工学科	鈴木長九郎
増田令子	時講	退職	渡部珠代	時講	新採用	機械科	吉田 孝男
遠藤信子	時講	退職	猪瀬邦彦	事務長	地振興局	電気科	佐藤 春樹
加藤長生	事務長	会津高				電子科	小沼知久平
						情報技術科	東條 憲
						建築科	渡部 泰博
						施設	十二所宗紀
						視聴覚	青井 勝

(分校関係) 佐藤博美 兼務講 退職

(分校関係) 脇本三子 常講 若商高

青井 勝



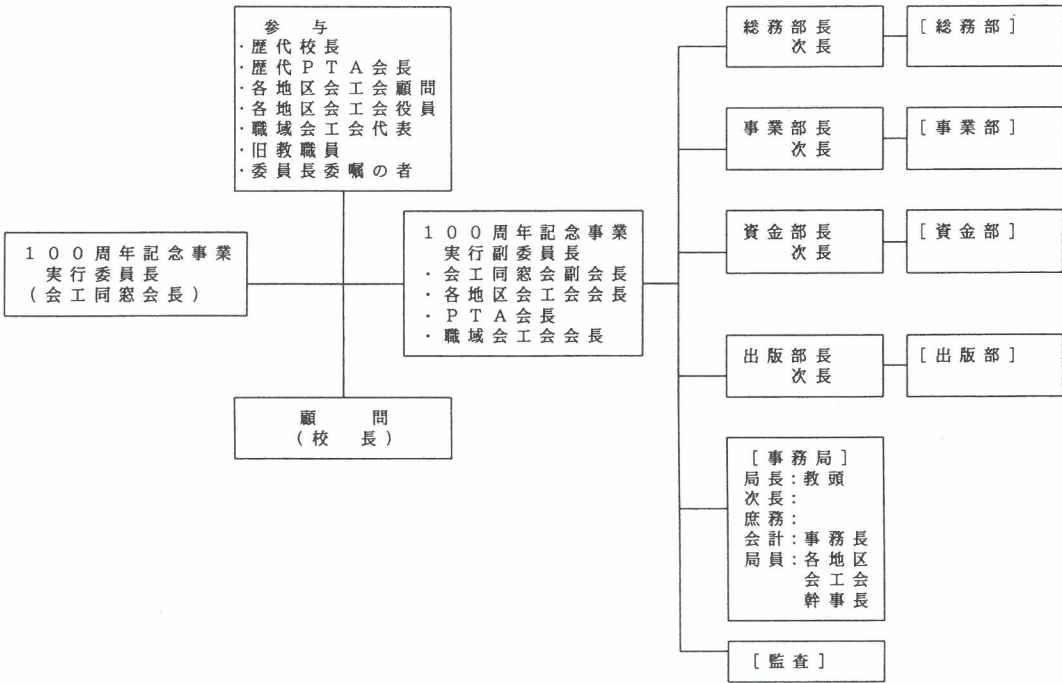
母校創立百周年

記念事業実行委員会

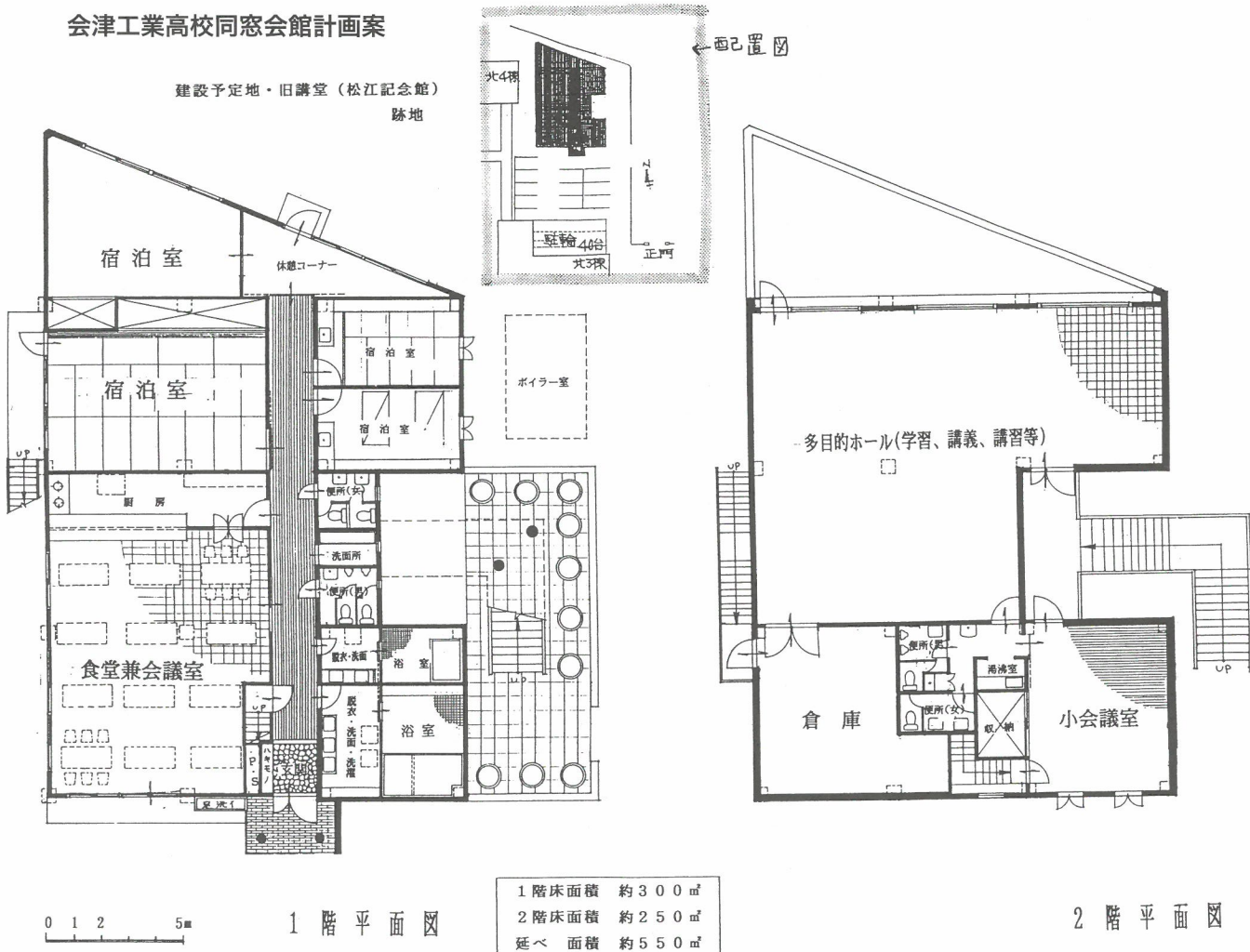
設立へ向けて

教頭 小林 憲一

「福島県立会津工業高等学校
創立100周年記念事業実行委員会」組織図(案)



会津工業高校同窓会館計画面案



- 創立百周年を記念し、記念事業を遂行するための準備委員会が昨年十二月十九日に結成されました。爾来七回に渉つて会合を重ね、次のような百周年記念行事・記念事業(案)を行うという原案をまとめた。
- 一 記念行事
- (一) 創立百周年記念式典 平成十四年十月下旬 感謝状贈呈・表彰
 - (二) 創立百周年記念号「会工新聞」発行
 - (三) 記念講演会
 - (四) 同窓会館(会館)の施設・設備を含む・敷地は松江記念講堂跡地の建設
 - (五) 各種「資料」の整理・整頓・整備
 - (六) 学校沿革史並びに百周年記念誌の編集・発行
 - (七) 祝宴
 - (八) 創立百周年記念号「会工新聞」発行
 - (九) 同窓会館(会館)の施設・設備を含む・敷地は松江記念講堂跡地の建設
 - (十) 各種「資料」の整理・整頓・整備
 - (十一) 学校沿革史並びに百周年記念誌の編集・発行
 - (十二) 同窓会にとつては、母校に想いを馳せ、母校を援助する文字通りの世紀の大事業となるわけですが、会員の皆様の英知をここに結集し、一致協力し、目的達成のため邁進しなければならぬと同窓生の一人として願わすにはおられません。今後はこの事業を遂行するために「福島県立会津工業高等学校創立百周年記念事業実行委員会(案)」が組織され、これからの準備はこの実行委員会にすべて委ねられることとなります。なお、創立百周年記念事業実行委員会の組織図(案)と同窓会館の平面図(案)を紹介しておきます。

平成九年

同窓会事業報告

- 平成8年10月25日 27日 「創立一〇〇周年」発足準備会
会工同窓会総会 若松 ホテルいづみや 70名
記念講演「戊辰戦後の会津と県立工業学校の創立」藤沢忠氏
若松会工会再建総会 60名
会工同窓会報 21号発刊
会工同好会祝賀会 吉田会長ほか2名出席
副会長・東海会工会長 岩淵博氏告別式に会長参列
創立一〇〇周年準備委員会
委員長吉田会長選出
会津会工会新年会 若松 割烹米熊60名
創立一〇〇周年準備委員会 第2回
東洋電業(株)鈴木正夫氏告別式会長ほか1名参列
創立一〇〇周年準備委員会 第3回
建友会総会 東山 ホテルキャニオン
会長ほか2名出席
会工同窓会入会式(新加入三四〇名)卒業記念品贈呈
会長ほか2名出席
会工高卒業式 会長ほか3役5名出席
卒業祝賀会 会長ほか1名出席
会工高入学式 会長ほか3名出席
会計監査赤谷忠男氏 告別式参列
郡山会工会総会 郡山 丸新そば店
会長ほか1名出席
創立一〇〇周年準備委員会 第4回
東海会工会 名古屋 前会長岩淵氏に感謝状贈呈 会長ほか1名出席
創立一〇〇周年準備委員会 第5回
東京会工会総会 東京 上野精養軒 前会長室井氏に感謝状贈呈 会長ほか3名出席
創立一〇〇周年準備委員会 第6回
創立一〇〇周年準備委員会 第7回
近畿会工会 大阪 八幸
山内副会長ほか1名出席
坂下会工会総会 坂下奈良八前会長江川氏に感謝状贈呈 手代木幹事ほか2名出席
電友会総会 若松 ホテルニューパレス
幹事長ほか1名出席
創立一〇〇周年準備委員会 第8回
11月10日
10月4日 19日
9月14日 28日
8月28日
7月14日
6月8日 19日
5月17日
4月8日
3月1日
2月10日 31日
12月19日
11月12日 13日